

第2回守口市総合基本計画審議会 意見概要

資料1

※事務局の考え方には第2回審議会での回答・発言分と現時点での考え方を併せて記載しています。

No.	対象箇所			発言者	意見概要	事務局の考え方等	
1	基本構想	1	基本構想の策定背景	(1)④	服部委員	情報リテラシーは、書き込みや読み取りのことだけではない。情報処理能力を高めることも必要である。	修正案では情報教育や情報モラルの確立も含め加筆しました。
2	基本構想	1	基本構想の策定背景	(1)②	土江委員	新型コロナウイルス感染症の影響が「中長期的にはやがて回復する」と見込むのは楽観的ではないか。 年度末の状況を踏まえて必要に応じて修正してはどうか。(8/21河田会長)	左記意見をふまえ、最終稿段階での直近の情勢と認識を加筆修正します。
3	基本構想	1	基本構想の策定背景	(1)⑤	河田会長	SDGsに取り組むならば、格差の是正が大きな問題となる。課題の重要性の異なりについて認識を共有することが必要である。	基本計画冒頭で全施策目標にわたってSDGsの考え方を織り込んで施策を立案し遂行していくことと位置づけました。
4	基本構想	1	基本構想の策定背景	(1)⑤	河田会長	「豊かな社会」を実現するためには、数値目標を設定し、進捗状況をフォローアップするぐらいの真剣さが必要である。	基本計画において27の施策目標ごとに初期値と目指す方向(到達度)を記しています。

No.	対象箇所		発言者	意見概要	事務局の考え方等
5	基本構想	1 基本構想の策定背景	(1)⑤ 服部委員	「持続可能性」という概念が広すぎる。「あれにもこれにも配慮」が必要となってしまうか。	「持続可能な開発目標（SDGs）の達成は今日の国際社会の共通目標であり、自治体においてもそれぞれの特性に応じて目標設定と取組を行います。本総合基本計画においてもその考え方でこの概念を取り入れています。
6	基本構想	1 基本構想の策定背景	(1)⑤ 河田会長	SDGsが抱える課題に対応するためには、複数部局がチームを作って取り組むことが必要	基本計画において設定した27の施策目標について、テーマや取組に応じ、複合的に対応、推進を図ります。
7	基本構想	1 基本構想の策定背景	(1) 野田委員	5年たてば、「新型コロナウイルス」という表現を使っていない可能性もある。何度も繰り返して使うのではなく、「感染症」という表現を用いてはどうか。	ご意見を踏まえ修正します。
8	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 水原委員	交通利便性の「モビリティ」という言葉は聞きなれない。補足説明が必要。	「移動のしやすさ」など分かりやすい表現になるよう修正します。
9	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 土江委員	交通利便性に「駅が6つあり」という表現があるが、モノレールの駅が6つあるように誤解されるかもしれない。「合わせて6つ」「合計6つ」などの表現した方がよい。	文章の表現方法を正確化します。

No.	対象箇所			発言者	意見概要	事務局の考え方等
10	基本構想	1	基本構想の策定背景	(3) 竹嶋委員	交通利便性に「京都や北大阪地域へのモビリティの高さ」とあるが、「京都や神戸」の方がわかりやすい。	乗換えなく行き来できるという観点で、「京都」を例示しましたが、審議会でのご意見を踏まえ、表現を工夫します。
11	基本構想	1	基本構想の策定背景	(3) 河田会長	交通利便性はよいが、駅を降りても何もないため、家に帰るしかない。外から来る人を含めて、駅の近くで何かができる空間があればと思う。	「3.まちづくりの目標の(4)市民が誇れる魅力あるまち」においてその趣旨を織り込んだまちづくりの必要と方向性を記載しています。また、現在、旧市役所跡地の「エキウエ」エリアを民活により魅力ある都市空間を創出する予定です。
12	基本構想	1	基本構想の策定背景	(3) 河田会長	大日のイオンモール周辺が休日に渋滞しており、解消しなければならない。渋滞が発生することは計画段階からわかっていたはず。目標を達成するために生じる枝葉の問題も考慮・対応しないと、まちの開発全体がうまくいかなくなる。	都市（地域）開発に当たっては、交通計画始め多方面な観点からアセスメントと対策の実施が大切です。基本計画や分野別事業計画に基づく事業実施に当たっては、そうした視点、意識を一層備えてまちづくりを行ってまいります。

No.	対象箇所		発言者	意見概要	事務局の考え方等
13	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 西田委員	コンパクトで平坦な市域として、「平坦であり、自転車での移動がしやすい」とあるが、高齢者にとって自転車は危険である。路線バスが縮小されており、市内の交通利便性の維持が課題である。	「(4)本市の主要課題」②の10行目の「誰もが安心して外出・移動できる手段の確保や…」において、趣旨は反映しております。本市における地域コミュニティ交通確保の課題意識や施策の検討について、基本計画において具体的に記述します。
14	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4) 西田委員	高齢者の移動利便性の確保についての課題を、(4)本市の主要課題で分かりやすく記載してほしい。	
15	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 服部委員	中心市街地において、「守口都市核を市の玄関口」と表現しているが、並列して2つの都市核（守口都市核と大日都市核）を有するといった表現を今後検討してほしい。	現行の記述は、「守口都市核周辺における将来都市ビジョン」における位置及び表現にも準拠したもので、ご趣旨を反映できる記載を検討します。
16	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 松川委員	守口市への定住を促すために「市民」の利便性や安全、暮らしやすさ、過ごしやすさを高めるということと、「外部から入ってくる人」の利便性や過ごしやすさを整理した上で記載してはどうか。	P15の「3. まちづくりの目標(4) 市民が誇れる魅力あるまち」の本文中の「(実現をめざす守口の姿)」の中で、交流人口も念頭に置いたまちづくりの方向性を記しました。

No.	対象箇所		発言者	意見概要	事務局の考え方等
17	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 河田会長	「24時間」まちに人の目があれば犯罪は減少する。	ご指摘のとおりであり、P8（3）本市の特性や、P11（4）本市の主要課題のいずれかのパーツで「防犯委員や学校青色パトロールのボランティアをはじめとする地域での見守り」の重要性など加筆します。
18	基本構想	1 基本構想の策定背景	(3) 水原委員	RESASなどを活用して、市内・市外の人 口動態のデータを分析できないか。リアルタイムのデータがとれるとよいが。	施策立案の基礎となる様々な分析に今後 も取り組んでまいります。 (国勢調査は5年に1回であり、RESASも国勢調査のデータを活用しています。(8/21野田委員のご発言より))
19	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4)⑤ 岡山委員	「スクラップ」は一般的になじみのない言葉である。変更、削除した方がよい。「都市ニーズ」が何を意味しているのかがわかりにくい。	「施設の廃止・縮小」などの表現に工夫 します。 「都市ニーズ」は、市民生活や産業経済活動上必要なインフラやそこから供給される利用（需要）を意味していましたが表現を工夫します。
20	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4)② 服部委員	車や鉄道でのアクセスの利便性は発達しているが、回遊性についても言及してはどうか。	(4) ②10行目の「誰もが安心して外出、移動できる手段の確保や…」において、ご意見の趣旨を反映しております

No.	対象箇所		発言者	意見概要	事務局の考え方等
21	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4) 森（由香） 委員	基本構想へは、具体的な取り組みまでを記載する必要はない。基本構想では課題や目指すところを示し、基本計画の各論につなげばよい。	
22	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4)① 河田会長	子育て世代が、市外に転出する理由は何か。	要因は多義的であり、詳細な分析結果はありませんが、世帯人数の増加や子供の成長に伴う一定居住面積を持つ一戸建て住宅の確保による転居等が一因と考えています。
23	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4)① 河田会長	守口からは通える場所によい大学がたくさんある。家族はバラバラに暮らすよりも、近くに住む方が良いといったことを打ち出せると良い。	守口・大阪・関西の高等教育機関の人材育成力もまちの魅力の1つであることを何らかの形で表現してまいります。
24	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4) 河田会長	高齢化により一人暮らしの方が増えている。そのような人がどう暮らしているのかを具体的に知っておくことが必要である。今後人口が減少し、病院への送迎バスやスーパーがなくなると、住みにくいまちになってしまう。	P11「（４）②人生100年時代を見据えた多様な人が過ごしやすいまちづくり」の箇所で課題記載を表現しています。
25	基本構想	1 基本構想の策定背景	(4) 河田会長	主要課題に対応するための具体的な取り組みを考える必要がある。また、計画の進捗状況をきちんとチェックすることが重要である。	基本計画において初期値と目指す方向（到達度）を設定し、PDCAサイクルによりチェックしてまいります。

No.	対象箇所			発言者	意見概要	事務局の考え方等	
26	基本構想	1	基本構想の策定背景	(4)	河田会長	市役所職員は市内に住むようにしてはどうか。市民の暮らしがよくわかるし、危機管理の観点からも、災害時に市役所に集まりやすい。	基本計画の施策15「防災・減災・縮災」の項で職員の非常時参集体制の強化について記述いたします。
27	基本構想	1	基本構想の策定背景	(4)	服部委員	市外の人からみたイメージなどは調査していますか。	都市イメージの向上は重要であり、主要課題の一つに掲げています。市民に加え市外の方にも守口の良いところを知っていただく努力が重要と考えていますが、意識調査などは実施しておりません。
28	基本構想	1	基本構想の策定背景	(4)	服部委員	市民を対象としていてはわからないこともあるので、今後は、市外の人から守口がどうみえているのかを調査を検討してください。	今後の施策等への参考としてまいります。
29	基本構想	1	基本構想の策定背景	(4)①	土江委員	北摂地域の方が教育が良いという理由で転出したということを聞いたことがある。	
30	基本構想	1	基本構想の策定背景	(4)①	水原委員	客観的なデータにより教育環境の違いを把握することが必要です。守口の教育のハード面が充実していると思うので、その他の要因が考えられます。	
31	基本構想	2	将来都市像		服部委員	市のコンセプトを表す将来都市像の他に、対外的なキャッチコピーとなる将来都市像を作成してはどうか。	別添のとおり公募を行い、審議会でのご決定をお願いいたします。

No.	対象箇所			発言者	意見概要	事務局の考え方等
32	基本構想	2	将来都市像	野田委員	<p>「いつまでも住み続けたいまち」にするための将来都市像を掲げるべきである。例えば、多様な人が何か新しいものを作り出していくようなイメージが考えられる。守口市に住み続けたいような具体的な都市イメージが必要である。</p>	<p>上記作業と今後のご審議により守口の目指す都市イメージを深化させてまいります。</p>
33	基本構想	2	将来都市像	河田会長	<p>「いつまでも住み続けたいまち守口」という将来都市像はいつ頃から用いているのか。</p>	<p>この言葉は今回が初めて用いています。定住という考え方は過去の総合基本計画から引き継いでいます。</p>
34	基本構想	3	まちづくりの目標	(3) 河田会長	<p>守口は犯罪が多く、あまり安全安心なまちではないと思っている。</p>	<p>地域犯罪は、近年大幅に減少しています。ただ、犯罪発生状況と体感治安が一致していない点がみられます。この点の改善の工夫は必要と認識しています。</p> <p>(例えば、街灯が少ないと体感治安が下がる。駐輪場やごみ置き場のマナー、落書きなどから体感治安は悪化する(8/21松川委員のご意見より))</p>

No.	対象箇所			発言者	意見概要	事務局の考え方等
35	基本構想	3	まちづくりの目標	(3) 土江委員	大阪府警の「安まちメール」では、特殊詐欺の情報が多く流れてくる。痴漢などは減っていると思う。	ご指摘のとおり地域でのいわゆる該当犯罪は減少していますが、高齢者を狙った特殊詐欺は守口市でも増加傾向で対策を強めています。 (狙われやすい高齢者が増えているので、特殊詐欺が増えている。守口だけで対応できる犯罪ではない。(8/21松川委員のご意見より))
36	基本構想	3	まちづくりの目標	(3) 阪本委員	守口では犯罪の発生件数は減っているが、悪いイメージを持たれている。イメージ改善の取り組みが必要である。	「(4)本市の主要課題」12ページ4行目以降に記載しているとおり、事実に応じた正確な治安・防犯情報の発信は重要で、警察とも連携しその取組を強めてまいります。
37	基本構想	3	まちづくりの目標	(3) 服部委員	他都市の住民からみて「守口は安全な住みよいまち」と思ってもらえるようなイメージ戦略を作ることが大事である。	上記を含め、各種の取組みを基本計画にも位置付けてまいります。
38	基本構想	2	将来都市像	阪本委員	「大都市よりも大東市」という大東市の将来像はとても面白く、次はどのようなことをするのかという興味を引く。キャッチコピーではないが、そのようなイメージを考えることも大事である。	今回の総合基本計画で守口市が目指す「いつまでも住み続けたいまち」をより具体的にイメージできるキャッチコピーを別添のとおり公募し、決定、採用してまいります。

No.	対象箇所			発言者	意見概要	事務局の考え方等
39	基本構想	2	将来都市像	水原委員	学力が高いというイメージと、安全であるイメージについて相関関係を示すエビデンスはあるか。	(例えば「挨拶」が活発なまちだと、安心感につながる。一方、街灯が適切に管理されていないなどケアされていないと不安感が高まる。(8/21松川委員より))
40	基本構想	2	将来都市像	水原委員	キャッチコピーを今後検討する余地はあるか。	今回の総合基本計画で守口市が目指す「いつまでも住み続けたいまち」をより具体的にイメージできるキャッチコピーを別添のとおり公募し、決定、採用してまいります。